


会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回戸田市総合介護福祉市民協議会
開催日時	平成29年5月30日(火) 午後1時30分～午後3時15分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室A
委員長等氏名	嶋田会長、早船副会長
出席者氏名 (委員)	嶋田会長、早船副会長、西塔委員、武内委員、西山委員、市瀬委員 磯島委員、日沖委員、福本委員、松山委員、久川委員
欠席者氏名 (委員)	石川委員
事務局	吉野次長、江口課長、野口主幹、林副主幹、渡邊副主幹、七種主任
議 題	1 【報告案件】第7期計画策定における国の基本方針等について 2 【協議案件】地域包括ケアシステムの進捗状況及び第7期計画の方向性について 3 【報告案件】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(在宅介護分)の結果について 4 その他
会議結果	第7期計画策定における国の基本指針等を報告し、第7期計画に係る5つの項目(①新しい介護予防・日常生活支援総合事業 ②認知症施策の推進 ③医療・介護の連携推進 ④地域包括支援センターの機能強化(地域ケア会議の強化) ⑤生活支援サービスの体制整備の方向性について、それぞれ承認を得る。 また、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(在宅介護分)の結果を報告書に基づき報告を行った。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別添のとおり
議事録確定	平成29年 6 月23日 委員長等氏名 嶋田美津江 

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 協議会の開会 ○傍聴人がいないことを確認。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 【報告案件】第7期計画策定における国の基本方針等について ○資料1に基づいて説明。第7期では国から示された基本指針により、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるため、計画の位置付けの明確化が求められていること等を説明。</p> <p>(2) 【協議案件】地域包括ケアシステムの進捗状況及び第7期計画の方向性について ○資料2に基づき説明。資料2の5項目それぞれについて、順次協議を行う。</p> <p>【1 新しい介護予防・日常生活支援総合事業について】</p> <p><質疑></p> <p>委員 多様な主体を活用した介護予防・生活支援サービス事業とあるが、多様な主体とはどういったものを想定し、交渉しているか。</p> <p>事務局 NPO団体や社会福祉法人、シルバー人材センター等を想定しており、調整を行っている。</p> <p>委員 TODA元気体操について、戸田市社会福祉協議会の各支部が実施しているリズム体操との統合は考えているか。</p> <p>事務局 リズム体操は有酸素運動であり、TODA元気体操は筋力トレーニングを目的としているため、両方行っていたほうが望ましいが、どちらかのみ参加したいという方にも対応しなくてはならない。共に支部活動に組み込むことができるか、併せて実施するかどうかは実施主体である町会等の各団体に任せることとなる。</p>

委員	第6期計画を実施する中で、TODA元気体操を開催する場所の確保が課題という事務局の説明があったが、第7期計画では、開催場所の確保について市はどう対応するのか。
事務局	TODA元気体操の活動については、活動場所や参加人員の確保も含め、実施主体である市民にてお願いする。
委員	市でお金をかけて場所の確保は出来なくても、公共施設の利用状況の見直し等により、市が支援出来るよう考えてほしい。
委員	昨年度にTODA元気体操を実施して気付いた、良かった点や悪かった点、地域ごとの課題等があれば教えてほしい。
事務局	良かった点は、地域主体で開催することで、地区ごとの創意工夫がされ、地域住民の見守りや地域のつながりが強化できていると感じる。課題と感じる点は、市が介入せず地域主体で行うため、組織内での活動に対する考え方が統合できていない地区もある点である。
委員	地域ごとの単身高齢者は何人くらいいて、そのうち何人がTODA元気体操に参加しているのか、市で取りまとめ、把握してほしい。
事務局	各地区で活動に際し、定期的に理学療法士をつけるとともに、各地域包括支援センターの職員が活動場所に行き、参加者数等の実施状況を市へ報告するため、各地区の開催状況を把握している。 地域によっては介護認定を受けている方も参加しており、デイサービスを利用するより、TODA元気体操に参加するほうが良いと言っている方もいる。
委員	地域包括支援センター運営協議会とTODA元気体操の関連は。
事務局	市内4つの地域包括支援センターの運営の公平公正を図るため、運営協議会を開催し、その会議にてTODA元気体操の実施状況の報告等もされている。補足であるが、TODA元気体操のリーダーによる反省会も行われており、そこに市職員も参加している。

委員	新たにTODA元気体操の活動を立ち上げるにはどうすればよいのか。
事務局	まず、活動を行う場所の確保と、TODA元気体操の指導・サポートを行うリーダーとなる人を確保してもらおう。その後、介護予防リーダー養成講座を受講してもらい、立ち上げの準備を進めていくこととなる。体操は原則週一回実施していただく。
委員	活動場所として、町会会館を利用できるのか。
事務局	各町会の町会長と調整してもらい、許可が出れば利用できる。必ず利用できるというものではないと思われる。
委員	なぜ利用可能な町会と、利用できない町会とで足並みがそろわないのか。
事務局	各町会活動の中で、このTODA元気体操をどう位置づけるかということだと思われる。
委員	各町会の協力を得るために、市として支援はしないのか。
事務局	町会連合会の会議にて、市からTODA元気体操に関する説明と、活動に対する協力を依頼している。
会長	「1 新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の第7期計画の方向性について、承認としてよろしいか。
委員一同	異議なし。
	【2 認知症施策の推進について】
	<質疑>
委員	認知症サポーター養成講座に関し、平成27年度は9回に対し、平成28年度は5回と回数が減っているがなぜか。
事務局	本講座は出前講座として、町会・民間企業等から依頼を受け実施するため、依頼数により変動してしまう。開催数は減ったが、受講人数は増えている状

	況である。
委員	認知症カフェとは市内のどこにあるのか。
事務局	現在市内に ①とだ優和の杜 ②有料老人ホームまどか戸田 ③グループホームふれあい多居夢戸田 ④グループホーム氷川 の4か所がある。
委員	認知症カフェは誰でもふらっと行けば参加できるのか。
事務局	認知症カフェは、認知症の方やその家族、地域住民等の一般市民が参加し、悩みを相談したり、情報交換を行う場のため、誰でも参加可能である。
委員	認知症カフェについては、どのように市民へ周知をしているのか。
事務局	それぞれ開設している施設が、広報チラシ等を作成し、近隣住民に周知している。ただ、まだ知らない方も多く、周知については課題である。
委員	ホームページでの広報を行う予定はないのか。
事務局	現在公開に向け準備を行っており、完了次第ホームページでの広報を実施する。
会長	「2 認知症施策の推進」の第7期計画の方向性について、承認としてよろしいか。
委員一同	異議なし。
	【3 医療・介護の連携推進について】
	<質疑>
委員	地域包括支援センターは、見学できるのか。
事務局	見学や、職員による説明は可能であるが、職員のほとんどは訪問等で外出してしまっているため、見学を希望する際は、事前に連絡して頂きたい。

委員	資料2のp,19に掲載されている講演「畳の上で大往生」について、平日開催であったため、都合がつかず参加できなかった方も多いと考えるが、今後土日に開催する予定はないか。
事務局	講師を行っていただいた医師の業務との兼ね合いもあり、平日での開催となった。講師のスケジュールを考慮すると土日での開催は現状難しいと思われる。本開催時には100名近い方の参加をいただいた。
会長	「3 医療・介護の連携推進」の第7期計画の方向性について、承認としてよろしいか。
委員一同	異議なし。
	【4 地域包括支援センターの機能強化（地域ケア会議の強化）について】
	<質疑> なし
会長	「地域包括支援センターの機能強化（地域ケア会議の強化）」の第7期計画の方向性について、承認としてよろしいか。
委員一同	異議なし。
	【5 生活支援サービスの体制整備について】
	<質疑>
委員	生活支援コーディネーターとはそもそもどういったものなのか。また現在何名いるのか。
事務局	生活支援コーディネーターは、行政・各団体・地域住民との関係を構築する等の様々な役割を担っている。漠然としている部分もあるが、例えば、すでにTODA元気体操を開催している地域があり、その活動に参加したいと考えているが、その場所に一人では行くことが難しい方がいるとする。そうした方の開催場所までの送迎整備・確保することが、生活支援コーディネーターの役割の一つである。 現在、生活支援コーディネーターは戸田市社会福祉協議会に委託しており、職員の飯田氏が担っている。さらに、支部担当の3名もコーディネーターを補助している。コーディネーター自体は1名であるが、コーディネーターと

	<p>しての業務は社会福祉協議会全体で行っている。</p> <p>また、協議体（＝戸田市生活支援・介護予防体制推進協議会）の事務局は市で行っているため、市と社会福祉協議会が連携する形となっている。</p>
委員	<p>平成 28 年度に実施した結果や、地域資源リスト等の成果物は当会議でも確認できるのか。</p>
事務局	<p>次回以降の会議でお渡しできるよう、調整したい。</p>
委員	<p>生活支援の担い手の確保について、市内在住で市職員を退職した、いわゆる市のOB職員の活用も検討してはどうか。</p>
事務局	<p>現在OB職員の方には、民生委員等で活動している方もおり、地域の担い手としても活躍いただけるよう、調整していきたい。</p>
会長	<p>「生活支援サービスの体制整備」の第7期計画の方向性について、承認としてよろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
	<p>(3) 【報告案件】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（在宅介護分）の結果について</p> <p>○資料3及び在宅介護実態調査集計結果報告書（クロス集計版・単純集計版）に基づき説明。介護サービス利用状況の結果や、介護に関し介護者が不安と感じていること等の結果を報告。また、前回委員から質問のあったボランティア活動に参加している男女比率等の事項についても報告を行う。</p>
会長	<p>事務局から報告があったが、よろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
	<p>(4) その他</p> <p>○本会議で協議したTODA元気体操の様子が、6月期の戸田市広報番組「ふれあい戸田」にて放送されることを報告。</p>

会長	<p>○次回の会議について 平成29年6月23日（金） 午後1時30分から5階大会議室Aにて実施予定</p> <p>閉会あいさつ</p> <p>4 閉会</p>
----	--